

作成日 2024/09/19
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	嘔吐物凝固剤
製品コード	4330087
供給者の会社名称	株式会社MonotaRO
住所	〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪 22階
担当部門	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
推奨用途	嘔吐物の凝固処理剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質 専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H319 強い眼刺激 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、 免疫系の障害 H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない こと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 (P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 (P280)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
吸水ポリマー	約20.0%	不明	該当なし	既存	9003-04-7
天然濾過鉱石 ゼオライト	約10.0%	不明	対象外	不明	12173-98-7
天然濾過鉱石 ゼオライト	約10.0%	不明	対象外	不明	1318-02-1
石英(結晶質シリカ)	10.0～20.0%	SiO2	対象外	既存	14808-60-7
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8～C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12～C16)	約0.02%	不明	該当なし	既存	68424-95-3
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8～C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12～C16)	約0.02%	不明	該当なし	既存	68424-85-1
pH調整剤	約50.0%	CaCO3	(1)-122	既存	471-34-1
その他、水	残り	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

		目の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合		ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤		情報なし
火災時の特有の危険有害性		燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 粉末の場合は、電気掃除機（真空クリーナー）、ほうきなどを使用して回収する。 粉塵が飛散しないようにして取り除く。 微粉末の場合は、機器類を防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
環境に対する注意事項		付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
二次災害の防止策		
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
吸水ポリマー	未設定	未設定	未設定
天然濾過鉱石 ゼオライト	未設定	未設定	未設定
天然濾過鉱石 ゼオライト	未設定	未設定	未設定
石英(結晶質シリカ)	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m3	設定あり
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8~C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12~C16)	未設定	未設定	未設定
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8~C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12~C16)	未設定	未設定	未設定
pH調整剤	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
吸水ポリマー	未設定	未設定
天然濾過鉱石 ゼオライト	未設定	未設定
天然濾過鉱石 ゼオライト	未設定	未設定
石英(結晶質シリカ)	未設定	未設定
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8~C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12~C16)	未設定	未設定
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8~C10) -アルキルジメチルベンジルアンモニウムクロライド(C12~C16)	未設定	未設定
pH調整剤	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	粉末
色	白～茶色
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	なし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 下限	データなし
／可燃限界	
	データなし
	データなし
引火点	引火せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	なし
動粘性率	データなし
溶解度	水に接触するとゲルを形成する。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	通常の取り扱いではなし。
避けるべき条件	直射日光、高温体、湿気
混触危険物質	酸性物質、還元剤、酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が5957.5671853mg/kgのため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
------	----	--

経皮	急性毒性推定値が2497.8758594mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が54mg/lのため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	10×(眼区分1+皮膚区分1)+眼区分2の成分合計が10.09%のため、区分2Aとした。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	区分2の成分が10%のため、区分2とした。
生殖毒性	区分1Aの成分が10%のため、区分1Aとした。 (生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)の成分が10%のため、区分1(呼吸器)とした。 区分1(腎臓)の成分が10%のため、区分1(腎臓)とした。 区分1(免疫系)の成分が10%のため、区分1(免疫系)とした。 区分1(呼吸器)の成分が20%のため、区分1(呼吸器)とした。 区分1(呼吸器)の成分が9.99%のため、区分2(呼吸器)とした。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が100%のため、区分3とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が10%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、もしくは都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
		内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
		空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードによ るばら積み輸送される 液体物質	非該当 消防法の規定に従う。 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし

15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
		結晶質シリカ(政令番号:165の2)(1%-10%)(営業秘密)
		がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)
		結晶質シリカ

労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質(令和7年4月1日施行予定分)	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
	ゼオライト(政令番号:1137)(1%-10%)(営業秘密)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
消防法	非危険物
海洋汚染防止法	有害でない物質(施行令別表第1の2)
	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
16. その他の情報	
連絡先	情報なし
参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。